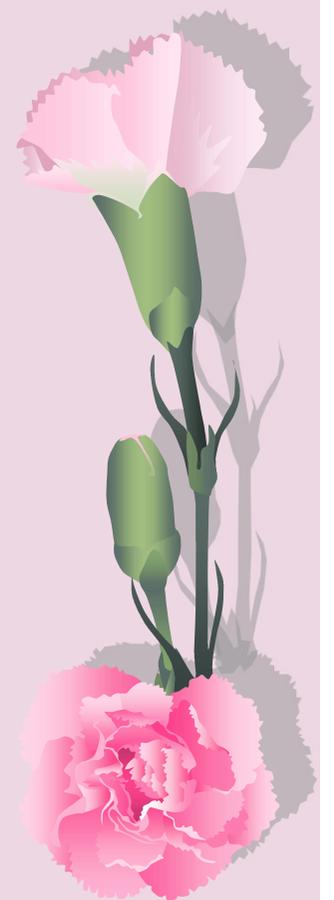


# 脳脊髄液減少症について

埼玉県教育委員会は、埼玉県議会 9 月定例会において、脳脊髄液減少症について県HPに掲載し、県内の学校関係者に対して周知をすると答弁しました。

この情報により、脳脊髄液減少症の症状で苦しんでいる児童生徒を正しく理解し、また疑わしいと思われる児童生徒には医療機関への受診を勧めていただくようお願いいたします。

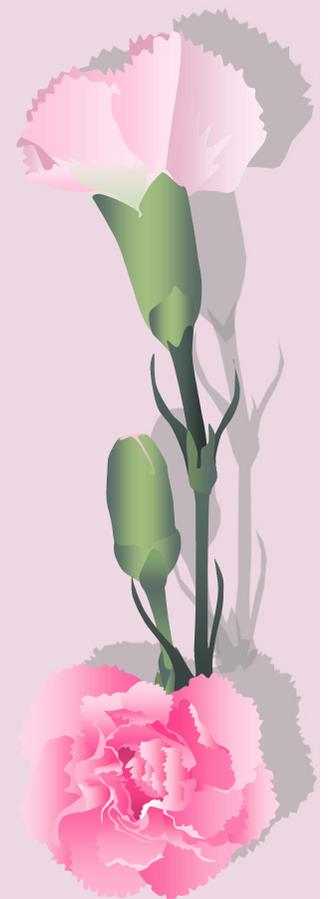
平成20年10月  
(平成26年3月改訂)  
埼玉県教育委員会



# 脳脊髄液減少症とは

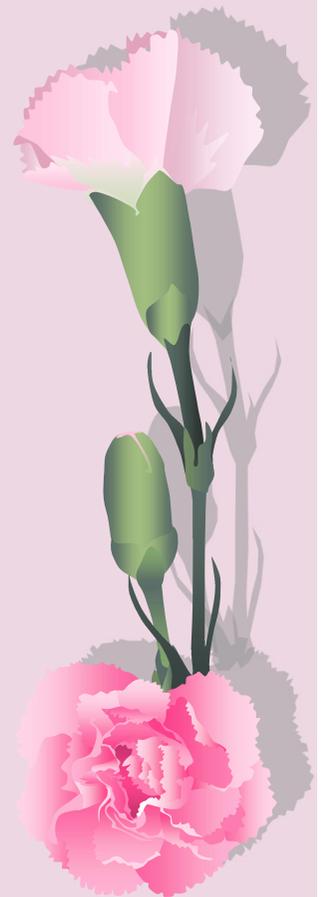
❁ 交通事故やスポーツ外傷など、体への衝撃によって脳脊髄液が漏れ続け、減少することで頭痛やめまい、吐き気などのさまざまな症状に慢性的に苦しめられる病気です。

❁ 現時点では、診断・治療法が確立されておらず、専門家の間において医学的な解明が進められている段階です。



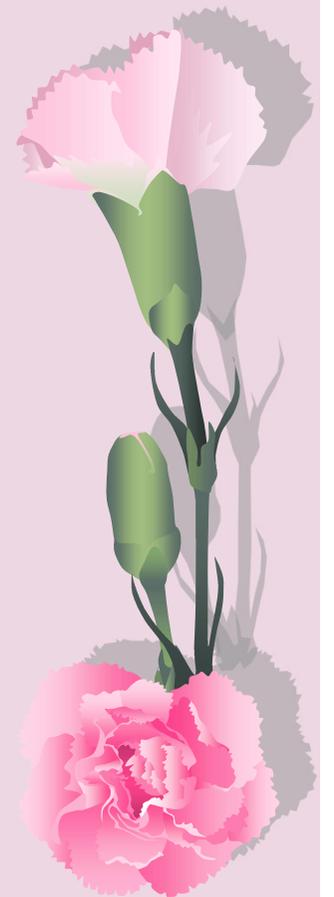
# 脳脊髄液減少症の症状

- ❁ さまざまな痛みが出ることで大きな特徴
- ❁ 頭痛
- ❁ 目の奥の痛み、視力低下
- ❁ 動悸、息苦しさ、腹痛
- ❁ 回転性のめまい、動揺感、ふらつき
- ❁ 腰痛
- ❁ 喉の奥の違和感、声がかれる、ものが飲み込みにくい
- ❁ 頸部、背部のいたみ



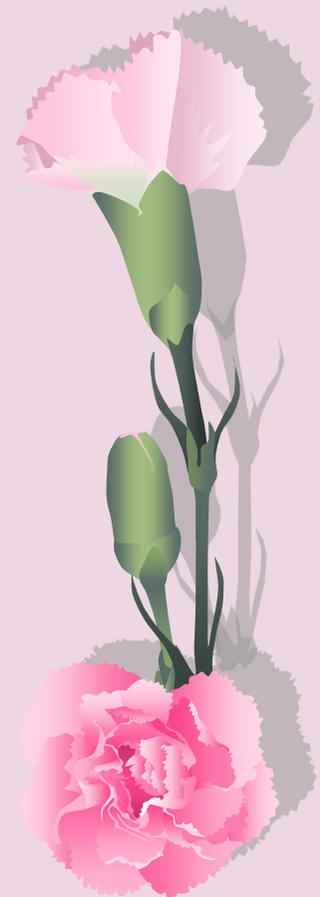
# 患者は何に困っているのか？

- ❁ 起立性調節障害など他の診断名をつけられ、適切なケアがされていない。
- ❁ 朝、頭痛で起きることができず、立ちくらみやめまいなどの症状が出るため心因的なものと誤解されやすい。
- ❁ 学校では「不登校」と判断されがち
- ❁ 見た目にはどこも悪くなさそうなので気のせいとかなまけ病とか言われる。



# どのような**事故**で発症するのか

- 🌸 学校で起こりうる事故
  - 転倒事故
    - 尻もちをついた
    - 転んで頭を強く打った
    - 学校の廊下で転倒した
  - スポーツ外傷
    - 頭にボールが当たった
    - 練習中に生徒同士が激突した
- 🌸 学校生活以外では
  - 交通事故によるむち打ちなど



# 学校に求められている対応①

❁ **事故**が発生した後、児童生徒等に頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、安静を保ちつつ医療機関を受診させたり、保護者に連絡して医療機関の受診を促す。

❁ 埼玉県内の脳脊髄液減少症に対応する病院は、県医療整備課のHPに掲載しています。  
(<http://www.pref.saitama.lg.jp/A04/BF00/iryoannzen/nousekizui/nousekizui.html>)

❁ 受診に当たっては、病院に事前に連絡してください。

❁ 子どもの脳脊髄液減少症については、診断が難しいため、お困りの方は脳脊髄液減少症患者 支援の会「子ども支援チーム」(最終頁に連絡先を記載してあります)に御連絡ください。



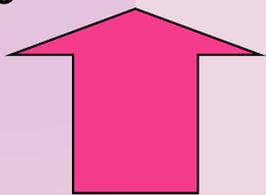
## 学校に求められている対応②

- 入学当初から脳脊髄液減少症の症状を呈しているが、保護者に尋ねても原因不明で治療などを受けたことがない児童生徒、保護者には、「脳脊髄液減少症」という病気があることを伝え、医療機関の受診を勧めること



# 学校に求められている対応③

学校関係者は、この病気を理解し、学習面を含め学校生活の様々な面で適切に対応すること。



事故後の後遺症として通常の学校生活を送ることに支障が生じているにもかかわらず、まわりの人から単に怠慢である等の批判を受け、十分な理解を得られないなどの事例がある。



# 埼玉県における脳脊髄液減少症の 児童生徒の状況

平成20年8月、県内の公立学校（小・中・高等学校、特別支援学校）に対して、脳脊髄液減少症の診断を受けている児童生徒の有無を調査し、9名の患者がいることが分かりました。

小学生 1名

中学生 5名

高校生 3名

以上の児童生徒は、全て医療機関で治療を受けています。

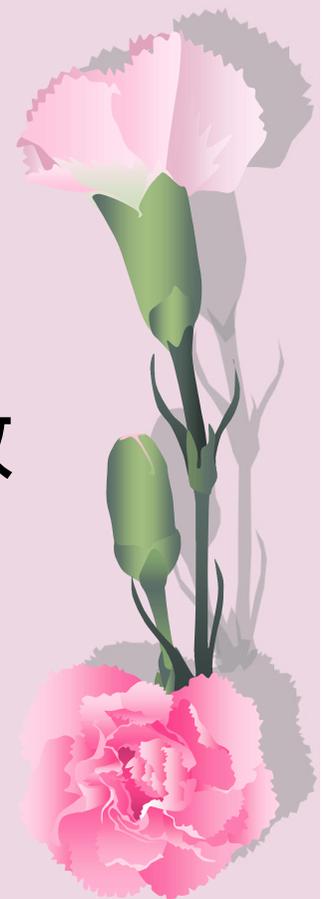


# 文部科学省の通知1

🌸 平成19年5月31日付け事務連絡

「学校におけるスポーツ外傷等の後遺症への適切な対応について」

※埼玉県教育委員会では、文部科学省の事務連絡を、平成19年6月4日付け教保体育第358号で、各市町村教育委員会教育長、各県立学校長あてに通知をし、周知を図った。

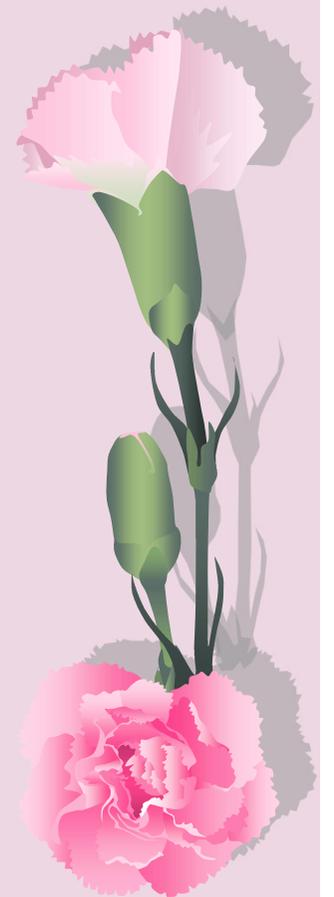


# 文部科学省の通知2

🌸 平成24年9月5日付け事務連絡

「学校におけるスポーツ外傷等による  
脳脊髄液減少症への適切な対応について」

※埼玉県教育委員会では、文部科学省の  
事務連絡を、平成24年9月6日付け事  
務連絡で、各市町村教育委員会教育長、  
各県立学校長あてに通知をし、周知を  
図った。



 この資料の作成に当たって、以下の書籍を参考にしました。

 「子どもの脳脊髄液減少症」

編著 脳脊髄液減少症患者 支援の会「子ども支援チーム」

鈴木裕子

発行所 日本医療企画

脳脊髄液減少症患者 支援の会「子ども支援チーム」の連絡先

ホームページ：<http://www.kodomo-cfh-support.net>

e-mail:kodomo-cfh@amail.plala.or.jp

FAX:04-7154-3084

